

# 令和5年度 第2回 北海道上川地域公共交通活性化協議会

## 次 第

### 1 議 案

- (1) 令和5年度の各施策・事業の実施状況について
- (2) 北海道上川地域公共交通計画の改定について
- (3) その他

## 議案 1 令和 5 年度の各施策・事業の実施状況について

令和 5 年度の各施策・事業の実施状況について、北海道上川地域公共交通計画第 8 章に基づき、別紙のとおり報告する。

(別紙)

- ① 北海道上川地域公共交通計画推進管理表
- ② 北海道上川地域公共交通計画に係る施策
- ③ R 5 年度最適化検討状況 (系統毎)
- ④ R 5 広域計画推進状況確認表
- ⑤ 北海道上川地域公共交通計画推進管理状況 (概要)

基本方針	目標	No.	施策名	対応する評価指標	実施概要	今年度の取組 (R5.6月現在)	進捗状況、課題、推進の方向性等 (R5.12月現在)
広域交通の維持・確保	目標① 官民連携による取組の推進	①	広域交通の最適化に向けた連携体制の構築による取組の推進	B、C	1. 公共交通事業者と北海道、市町村、国が参加する協議会やエリア別検討会を継続的かつ定期的に開催する。 2. 協議会やエリア別検討会での協議を基に、路線やサービス水準等の検討及び関係者間連携を推進し、広域交通の最適化を図る。 3. 地域交通に関わる事業者や行政担当者などの間で最新情報やノウハウなどの情報共有や意見交換などの機会を設け、連携体制を強化する。	国 ・協議会への参加 ・交通担当者向けの研修会の開催 ・先進事例等の情報提供 道 ・市町村、交通事業者との調整 ・協議会・エリア別検討会の運営・参加 ・最適化に係る協議・検討 ・交通担当者向けの研修会や意見交換会の開催 市町村 ・協議会・エリア別検討会への参加 ・最適化に係る協議・検討 ・最適化実施と実施後の利用データ取得及び利用状況のモニタリング ・運行状況等のデータ提供 事業者 ・協議会・エリア別検討会への参加 ・最適化に係る協議・検討 ・最適化実施と実施後の利用データ取得及び利用状況のモニタリング ・運行状況等のデータ提供	【進捗状況】 ○エリア別検討会の開催 ・「旭川市～名寄市エリア」及び「旭川市～上川町エリア」で開催し、地域の実情に応じた協議を実施。 ・名寄線(急行)を名寄線(普通)と統合しうえ廃止し、輸送の最適化について協議。 ・愛別線(永山経由)を層雲峡線に統合しうえ廃止し、輸送の最適化について協議。愛別町では町内の養護学校生徒の当麻線への乗り継ぎのため、送迎を実施。 ○各種協議会への参画 ・市町村公共交通活性化協議会(交通会議) ・中頓別・浜頓別地域公共交通活性化協議会 ・空港別協議会分科会 ・旭川市路線バス効率化検討会議 ・士別市次世代モビリティ推進会議 ・富良野線・宗谷線・根室線、石北線におけるアクションプラン実行委員会、沿線協議会、調査・実証事業検討委員会 ○国主催の研修会 ・地域公共交通人材育成研修等 【課題・方向性等】 ○「旭川市～名寄市・上川町方面」については、振興局予算による利用者アンケート調査を実施するとともに、国の地域公共交通利便増進事業の活用を検討し、地域の実情に応じた交通サービスの提供を推進する。
公共交通の日常的な利用の促進	目標② 公共交通利用に対する意識醸成	②	公共交通の維持・確保に向けた利用者意識の醸成	A	1. 路線バスと鉄道の総合時刻表等の作成配布やバスの乗り方教室の開催等により、公共交通の利用促進を図る。 2. 北海道、市町村、国が連携し、ノーカーデーを実施することにより、公共交通の利用促進を図る。	国 ・必要な助言や情報提供 ・ノーカーデーの実施 道 ・交通事業者・市町村と連携した路線バスと鉄道の総合時刻表の作成・配布 ・交通事業者・市町村と連携したバスの乗り方教室の開催 ・ノーカーデーの実施 市町村 ・交通事業者・北海道と連携した路線バスと鉄道の総合時刻表の作成・配布 ・交通事業者・北海道と連携したバスの乗り方教室の開催 ・ノーカーデーの実施 事業者 ・北海道・市町村と連携した路線バスと鉄道の総合時刻表の作成・配布 ・北海道・市町村と連携したバスの乗り方教室の開催 ・路線や時刻表をホームページに掲載するとともに、観光施設や公共施設で配布	【進捗状況】 ○路線バスと鉄道の総合時刻表の作成 ・国の「地域公共交通再構築調査事業」を活用し、JR各線(富良野線、宗谷線、根室線、石北線)と併行もしくは接続する路線バスとの共通時刻表を作成し、利用促進を図った。 ○バス・JRの乗り方教室等の開催 ・通学生やイベント参加者等に対して、乗り方等の周知を通じて、利用促進を図った。 ○ノーカーデーの実施 ・道及び管内市町村(一部)で実施。 ○啓発・広報 ・士別市内の小中学生や高校生のイラスト等をバス車体に掲出し、バスの利用促進を呼びかけ。 ・地域住民等による観光列車のおもてなしを通じたマイルール意識の向上を図る。 ・報道機関へ路線バスの現状や利用促進に関する記事を掲載依頼。 【課題・方向性等】 ○既存の取組を継続しつつ、構成員間の連携を促進し、地域住民等への公共交通利用に対する意識の醸成を促進していく。
公共交通の持続性向上	目標③ 公共交通の担い手確保	③	公共交通を担う人材の確保に向けた魅力発信や自治体施策との連携	A	1. 仕事の魅力を伝えるために就職説明会や運転体験会等を実施する。 2. 自治体の行う移住施策等とも連携しながら、交通事業者、北海道、市町村、国が協力して人材の確保に取り組む。	国 ・必要な助言や情報提供 ・旅客運送事業者の人材確保支援(二種免許取得支援等) 道 ・交通事業者合同就職説明会等の開催 ・移住施策との連携(移住・定住ポータルサイトの活用) ・事業者の取組への協力 市町村 ・移住施策との連携 ・事業者の取組への協力 事業者 ・就職説明会や運転体験会等の実施 ・資格取得支援制度や研修制度等の実施	【進捗状況】 ○就職説明会や運転体験会等の取組 ・運転体験会における合同就職相談会の開催や、高校生や自衛隊退職予定者に対する就職斡旋依頼等の既存の取組のほか、就職支援会社主催の職業体験イベント等への出典を実施。 ・「空港お仕事ミニフェスタ」の開催により、航空及び空港関係の仕事の魅力を伝え、関心を抱いてもらえる取組を実施。 ○移住施策との連携 ・「旭川市路線バス乗務員確保対策事業」では、移住して路線バス事業者に就職した場合や、免許取得費用について助成。 ・振興局主催の首都圏開催の移住セミナーにおいて、旭川市の同事業をPR。 【課題・方向性等】 ○運転体験会における合同就職相談会などの取組を継続しつつ、国の「交通DX・GXによる経営改善支援事業」の活用による旅客運送事業者の人材確保について、バス事業者を含む構成員へ周知し、公共交通の担い手確保確保に向けた取組を促進していく。

基本方針	目標	No.	施策名	対応する評価指標	実施概要	今年度の取組 (R5.6月現在)	進捗状況、課題、推進の方向性等 (R5.12月現在)
公共交通の利便性向上	目標④ 公共交通の利用環境の改善	④	快適な公共交通利用空間の整備やシームレスな乗継確保	A	1. 快適な利用に向け、バスの所在地や遅れなどの運行情報を提供する。 2. 乗継拠点やバス停等の整備を実施し、利用者にやさしい公共交通環境をつくる。 3. 鉄道とバス、バスとバスなど、輸送手段相互のシームレスな乗継のための取組を推進する。	国 ・必要な助言や情報提供 道 ・関係者間の調整、先進事例の情報提供 市町村 ・事業者の取組への協力 事業者 ・バスロケーションシステム(バスキタ！旭川)の周知・利用促進 ・乗継拠点など利用環境の整備 ・シームレスな乗り継ぎのための事業者連携の取組を推進	【進捗状況】 ○運行情報の提供 ・旭川市内を運行する路線(旭川電気軌道、道北バス、ふらのバス)及び士別軌道の士別市内の3路線について、バスロケーションシステムを導入している。 ・旭川駅でQRコードによるバス乗り場案内板を設置。 ・旭川空港等でサイネージによるバスの運行情報を提供。 ○公共交通利用環境の整備 ・根室線(富良野～新得)の廃止に伴い交通結節点となる南富良野町「道の駅」にシェルターを設置。 ・愛別町内の道北バスのバス停8か所に待合室を設置し、町が維持管理している。・上川駅を結節点としたコミュニティバス「かみくる」を運行。 ・中富良野町内でAIを活用した車両配車システムを利用した乗合タクシーを運行。 ・中富良野町内の宿泊施設や商業施設が近接する箇所に、「ラテール・ベストム前」バス停を新設。 ・共栄バスセンター及び春光バスセンターを交通結節点として整備。 ・かみくるバス(管内路線バス乗り放題となる乗車券)の発売促進により、公共交通によるシームレスな移動環境を推進する。 【課題・方向性等】 ○公共交通の利用環境改善のため、バスロケーションシステムなどにより利用者に対して積極的に運行情報を提供するとともに、交通結節点の整備や共通乗車券の発売等によりシームレスな乗り継ぎ環境の実現を推進する。
交流拡大に向けた公共交通の活用促進	目標⑤ 観光における公共交通の利用促進	⑤	観光誘客による公共交通の利用促進	A	1. 地域の観光施策と連携し、観光における公共交通の利用促進に取り組む。 2. 住民はもとより観光客などの来訪者が幹線交通・広域交通・生活圏交通を含め、スムーズな乗換ができるような環境の構築を推進する。	国 ・必要な助言や情報提供 道 ・エリア別検討会において、スムーズな乗換のできる結節点の構築を含め、観光施策と連携した利用促進の取組について、情報共有を図るとともに検討を実施 ・ホームページでの「かみくるバス」等の情報発信 ・交通事業者・市町村と連携した路線バスと鉄道の総合時刻表の作成・配布(再掲) 市町村 ・スムーズな乗換のできる結節点の構築に向けた検討 ・エリア別検討会において、観光施策と連携した利用促進の取組について、情報共有を図るとともに検討を実施 ・ホームページでの「かみくるバス」等の情報発信 ・交通事業者・北海道と連携した路線バスと鉄道の総合時刻表の作成・配布(再掲) 事業者 ・スムーズな乗換のできる結節点の構築に向けた検討 ・乗車人数など利用動向に係るデータの把握・提供 ・ホームページでの「かみくるバス」等の情報発信 ・北海道・市町村と連携した路線バスと鉄道の総合時刻表の作成・配布(再掲)	【進捗状況】 ○路線バスと鉄道の総合時刻表の作成 ・国の「地域公共交通再構築調査事業」を活用し、JR各線(富良野線、宗谷線、根室線、石北線)と併行もしくは接続する路線バスとの共通時刻表を作成し、利用促進を図った。(再掲) ○運賃無料・割引等の取組 ・バス無料DAYの実施(高速バス等を除く旭川市内乗入する全路線) ・ジェイ・アール深名線無料DAYの実施。 ・沿線の行事等に合わせ、十勝岳線の運賃が無料となる期間を設定し、観光振興等につなげる。 ・JAL、ANA、AIRDO利用者を対象としたJRフリーパス購入者に対して、空港連絡バスの運賃を割引。 ○観光誘客のための列車・バスの運行 ・さぼっちタクシー(士別市内の観光地) ・あいべつきのこの里フェスティバルのためのシャトルバスの運行 ・観光列車の運行(THE ROYAL EXPRESS、フラノラベンダーエクスプレス、富良野・美瑛ノロッコ号、花たびそうや号、HOKKAIDOLOVE!ひとめぐり号) ・モノコック構造のレトロバスの定期運行(士別軌道) ○イベント等の開催 ・ぴっぷぶ駅マルシェの開催 ・名寄駅開駅120周年、上川駅開駅100周年の記念行事を実施。 ・幌加内町のフォトコンテストをバス事業者が後援。 ・上川～層雲峡の往復乗車券に黒岳の湯の入浴券をセットした商品を発売し、層雲峡温泉への集客及び路線バスの利用促進を図る。 ○観光利用のニーズ等を踏まえた事業計画の変更等 ・JRのダイヤ改正に合わせた地域バスのダイヤの見直し(音威子府村) ・十勝岳線を土日祝の早朝の1往復の終点を十勝岳温泉まで延長。 ・観光周遊バスの空港乗入の実施(主に土日祝) ・旭川釧路線を北見経由とし、旭川北見線、釧路北見線と統合し輸送の効率化を図る。 【課題・方向性等】 ○路線バスと鉄道の総合時刻表やバスロケーションシステム、サイネージによる利用案内など、地域住民はもちろんのこと、観光客にとっても公共交通が利用しやすい環境の整備を推進していく。

# 北海道上川地域公共交通計画に係る施策（その1）

「団体名」欄は、ご回答を参考に、施策の実施主体を記入しています。また、複数の事業者（例〇〇バス、▲▲バス）が参加している時は、「交通事業者」と記入しています。

「参加者」欄は、ご回答を参考に、施策への参加者を記入しています。また、複数の交通モード（例〇〇バス、▲▲タクシー）が参加している時は、「交通事業者」と記入しています。

## （1）広域交通の最適化に向けた連携体制の構築による取組の推進

区分	団体名	施策の名称	実施時期	内容	参加者	継続	新規
①	設置市町村	市町村公共交通活性化協議会の開催	随時	「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の規定に基づき、住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保、利便性の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議	設置市町村 国、道 交通事業者 地域住民		○
	設置市町村	市町村公共交通会議の開催	随時	「道路運送法」の規定に基づき、住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保、利便性の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議	設置市町村 国、道 交通事業者 地域住民	○	
	音威子府村	中頓別町・浜頓別町地域交通活性化協議会への参加 (他振興局管内の会議への参加)	R5年度に数回	上川管内音威子府村～宗谷管内浜頓別間について、路線の最適なサービス水準の検討を実施	音威子府村、中頓別町、 浜頓別町の行政、 地域住民等	○	
	各市町村 北海道 交通事業者 国	北海道上川地域公共交通活性化協議会の開催	随時	「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の規定に基づき、「北海道上川地域公共交通計画」の作成、変更及び施策の実施に係る協議を実施	道 国、市町村 交通事業者	○	
	各市町村 北海道 交通事業者 国	北海道上川地域公共交通活性化協議会 エリア別検討会の開催	随時	「北海道上川地域公共交通活性化協議会」における協議に際し、必要に応じエリアを指定し、地域の実情に応じた協議を実施 ※R5年度開催～「旭川市～名寄市間エリア」「旭川市～上川町間エリア」	道 国、市町村 交通事業者	○	
②	愛別町	道北バス愛別線（永山経由）の減便に伴う一部最適化の実施	R5年10月	道北バス愛別線（永山経由）の減便に伴う、北海道美深高等養護学校あいべつ校生徒の送迎の充実（当麻線への乗り継ぎの充実）	愛別町		○
	旭川空港	空港別協議会 分科会の開催	R5年11月1日	旭川空港が抱える二次交通問題（待ち受けタクシーの不足）について、協議会担当者間の連携を強化し問題解決に向けた議論を推進	旭川市・東神楽町 道・国など		○
	各市町村 北海道 交通事業者 国	北海道上川地域公共交通活性化協議会 エリア別検討会コア担当者会議の開催	随時	「北海道上川地域公共交通活性化協議会エリア別検討会」における協議に先立ち、必要に応じ事務担当者を参集し地域の実情に応じた協議を実施 ※R5年度開催～「旭川市～名寄市間エリア」「旭川市～上川町間エリア」	道 国、市町村 交通事業者		○
	各市町村 北海道 交通事業者 国	北海道上川地域公共交通活性化協議会 エリア別検討会担当者会議の開催	随時	「北海道上川地域公共交通活性化協議会エリア別検討会」における協議に先立ち、必要に応じ担当係長等を参集し地域の実情に応じた協議を実施 ※R5年度開催～「旭川市～名寄市間エリア」「旭川市～上川町間エリア」	道 国、市町村 交通事業者		○
③	旭川市 北海道 交通事業者 国	旭川市路線バス効率化検討会議の開催	R5年6月～ 現在まで2 回開催	旭川市における持続可能な新たな市内バス路線網の構築を目指した具体的な施策の実現にあたり、バス運行データを活用しながら、他都市における先進事例等について情報収集、研究し、協議検討を実施	旭川市 道、 交通事業者 学識経験者等		○
	旭川市 北海道 関係市町村 国	広域公共交通連絡会議	R2年度～	コロナ禍において激減した広域バス路線への支援に関する情報交換や、路線維持の方向性の検討等を目的として実施	上川中部圏域1市8町、 広域公共交通路線の沿線 市町村、国、道	○	
	士別市	次世代モビリティ推進会議の開催	随時	地域交通資源の高度化と効率的な活用を通じて将来における市内の交通体系を検討	士別市 道、国 交通事業者 学識経験者	○	
	国	地域公共交通人材育成研修の開催	毎年度1回 程度	北海道運輸局が地方公共団体の交通担当職員を対象として、地域の交通政策にかかる情報やノウハウの収集・蓄積の強化等を目的に実施	国 道 市町村	○	
	沿線市町村 北海道 JR北海道	富良野線、宗谷線、根室線、石北線 各アクションプラン実行委員会の開催	随時	富良野線、宗谷線、根室線、石北線を維持活性化するため、JR北海道と各線区の関係者が一体となって取り組む「アクションプラン」に係る進捗状況の確認	沿線市町村 北海道、国 JR北海道	○	
	沿線市町村 北海道 JR北海道	富良野線、宗谷線、根室線、石北線 各沿線協議会の開催	随時	富良野線、宗谷線、根室線、石北線の維持活性化のため利用促進策や経費削減策等の検討を実施	沿線市町村 北海道 JR北海道	○	
	沿線市町村 北海道、国 JR北海道	富良野線、宗谷線、根室線、石北線 各調査・実証事業検討委員会の開催	随時	富良野線、宗谷線、根室線、石北線において実施する、国の「地域公共交通再構築調査事業」を活用した「調査・実証事業」の内容の検討を実施	沿線市町村 北海道、国 JR北海道		○

## 北海道上川地域公共交通計画に係る施策（その2）

### （2）公共交通の維持・確保に向けた利用者意識の醸成

区分	団体名	施策の名称	実施時期	内容	参加者	継続	新規
①	旭川市	百寿大学における講座の開催	随時	百寿大学において「みんなで乗ろう！未来をつくる公共交通」講座を開催し、公共交通を守り育てる意識の醸成を図る	旭川市 百寿大学参加者	○	
	士別市	市内路線バス啓発用マグネット作成	R5年8月～10月	高校生に路線バスに乗ってもらいたくなるようなイラストを考案してもらい、路線バスにマグネットを貼り付け利用促進を図る。	士別市 士別軌道 士別翔雲高校		○
		バステッカーイラストコンテスト	R5年11月～12月	小中学生にスポーツに関連するイラストを描いてもらい、「合宿の里士別」のPRとともに、公共交通の利用促進を図る。	士別市 士別ハイヤー 士別市立各小中学校		○
	名寄市	A1活用型オンデマンドバス説明会	R5年9月～	令和5年11月運行開始予定のA1活用型オンデマンドバスの利用方法等についての説明会を実施。	名寄市 交通事業者		○
	富良野市	JR根室線（滝川～富良野間）と代替交通のパンフレット作成	年度内	JR廃線後の代替交通と滝川～富良野間のJRの共通の時刻表を掲載したパンフレットを作成する。（主体：根室本線対策協議会）	滝川市、赤平市、芦別市、富良野市、南富良野町、新得町、占冠村		○
	比布町	路線バスと鉄道の総合時刻表等の作成配布	毎年4月12月	夏期・冬期における町内の時刻表を作成し、町内全戸に配布	比布町	○	
	東川町	スクールバス並びに乗合タクシー路線図・時刻表及び利用方法のリニューアル	R5年6月	路線図等が観光客や外国人にも利用しやすいよう表記方法のリニューアル	東川町		○
	音威子府村	宗谷本線マイレール意識向上事業	R5	JR宗谷本線の2管内を跨る町村（音威子府村、中川町、幌延町）が連携し、観光列車おもてなし等の利活用を実施。	音威子府村 中川町 幌延町	○	
	道北バス	バスの乗り方相談会	R6年3月	高校入学生を主な対象者として、自宅から学校までのバスの利用方法や時刻、定期料金等を説明する。	道北バス 高校入学予定者等	○	
	旭川電気軌道	バスの乗り方教室の開催	R5年4月	高等支援学校にて、全生徒への乗車マナー及びバスの疑問等のディスカッションを実施。	旭川電気軌道 高等支援学校 (全校生徒及び教職員)		○
		バスの乗り方教室の開催	R5年4月	道教大附属小学校の1.3.5年生を対象に、乗車マナーについて実車・ドライブレコーダーの画像を用いて教育を行う。	旭川電気軌道 道教大附属小学校 (120名)		○
		バス乗り方相談会	R5年3月	新高校生を中心に路線の疑問や乗り方など相談にのって、新入学時のバス利用を促進する。	旭川電気軌道 市内各高校 (700名)		○
	ふらのバス	バス案内モニターの設置	R5年12月	駅前案内所にバス案内モニターを設置し、行先・乗り場を探すお客様ストレスを低減。（多言語対応）	ふらのバス		○
		タッチパネル式券売機の設置	R5年12月	駅前案内所にタッチパネル式券売機を設置し、お客様の利便性の向上。（キャッシュ決済・多言語対応）	ふらのバス		○
	士別軌道	報道機関を通しての利用促進	随時	北海道新聞、地元新聞への路線利用状況、経常収支悪化等と利用促進を促す記事掲載依頼	士別軌道	○	
	JR北海道	きっぷの買い方・列車の乗り方の案内	R5年7月～8月	JR富良野線連絡会議主催「旭川駅＆運転所見学ツアー」において旭川駅と永山駅で参加者にきっぷの買い方と列車の乗り方について案内	JR北海道	○	
沿線市町村北海道、国JR北海道	富良野線、宗谷線、根室線、石北線におけるJRとバスの共通時刻表の作成配布	R5年8月～9月	国の「地域公共交通再構築調査事業」を活用した「調査・実証事業」において、富良野線、宗谷線、根室線、石北線と並行または接続する路線バスの共通時刻表を作成し、公共交通の利用促進を図る。	沿線市町村 北海道、国 JR北海道		○	
②	美瑛町	ノーカーデーの実施	通年	役場庁舎内にチラシを設置するなど、公共交通を利用するよう周知	美瑛町	○	
	剣淵町	ノーカーデーの実施	R5年度5回予定	職員のほか、地域住民へ周知し、脱炭素の推進とともに、公共交通の利用呼びかけを行う。	剣淵町		○
	愛別町	ノーカーデーの実施	R5年11月	公共交通の利用促進について、町民に対し広報あいつ（11月号）で呼びかけを行う	愛別町		○
	士別軌道	市内バスにイラスト等を掲示	R4から	市内バスのボディに令和4年度は児童が書いた落書きを掲示（らくがきバス）令和5年度は、士別翔雲高校美術部の作成したイラストを掲示予定	士別市 士別軌道 士別翔雲高校	○	
	北海道	ノーカーデーの実施	R5年9月～10月	庁舎内に対し周知するなど、公共交通を利用するよう呼びかけ	北海道	○	

## 北海道上川地域公共交通計画に係る施策（その3）

### （3）公共交通を担う人材の確保に向けた魅力発信や自治体施策との連携

区分	団体名	施策の名称	実施時期	内容	参加者	継続	新規
①	道北バス	管内の高校への就職案内訪問	R5年6月～	管内の高校に訪問し就職担当教諭に、バス運転手の仕事内容を説明し就職先としてバス会社を生徒に周知して頂く	道北バス 管内各高校 (就職担当教諭)	○	
		自衛隊退職者の斡旋	通年	自衛隊退職者のバス会社への就職斡旋依頼	道北バス 自衛隊 (再就職担当者)	○	
	旭川 電気軌道	就職説明会に参加	R5年4月	大手就職支援会社による大学卒業予定者対象の説明会に出店	旭川電気軌道 大学卒業予定者 (20名)		○
		未来ビューに参加	R5年4月	高校生を対象にした将来の仕事について体験ブースの出店を行った。3DVRによる体験・シュミレーターによる運転体験等	旭川電気軌道 高校生 (1000名)		○
	旭川空港	「空港お仕事ミニフェスタ」の開催	R5年9月	一般の方に航空及び空港関係の仕事に興味を持ってもらい、その魅力を伝えるため、「空の日/旭川空港まつり」に併せて空港での仕事に関する説明会を旭川市と連携し主催	旭川市・日本航空・日本 交通・道北航空・東京航 空局・丸駒シビルサービ ス・セノン等		○
	旭川市 北海道 交通事業者 会	路線バス運転体験合同就職相談会 の開催	R5年7月	旭川運転免許試験場内のコースを利用してバスを実際に運転する体験試乗会を実施するとともに、バス会社による就職個別相談を実施	旭川市、道 国、道北バス 旭川電気軌道 ふらのバス	○	
②	旭川市	旭川市路線バス乗務員確保対策事業 の実施	R2年度～	旭川市に移住しバス乗務員となった方に対して助成金を交付。令和5年度から、大型2種免許の取得と、それに係る特例講習に係る費用の一部についての支援も実施	旭川市 道北バス、旭川電気軌 道、旭川中央交通	○	
	国	補助事業による支援	R5年度	地域交通事業者によるDX・GX等による経営効率化の取組や、旅客運送事業者の人材の確保（2種免許取得費用含む）に活用できる「交通DX・GXによる経営改善支援事業」について情報提供	国		○
	北海道	東京都で開催の移住セミナーにおいて 旭川市路線バス乗務員確保対策事業 をPR	R4年度 ～	東京都で開催の移住セミナーにおいて、移住希望者に対し「旭川市路線バス乗務員確保対策事業」をPR	道	○	

## 北海道上川地域公共交通計画に係る施策（その4）

### （4）快適な公共交通利用空間の整備やシームレスな乗継確保

区分	団体名	施策の名称	実施時期	内容	参加者	継続	新規
①	旭川市	「バスキタ旭川」による運行情報の提供	通年	バスロケーションシステムによるバスの運行情報を随時提供	旭川市 道北バス 旭川電気軌道 ふらのバス	○	
		旭川市本庁舎へのバス案内の設置	R5年11月～	旭川市役所新庁舎の開庁に合わせて設置される旭川市新庁舎広告付きデジタルサイネージにバス案内システムを搭載	旭川市		○
	士別市	バスロケーションシステムの導入	通年	市内バス3路線について、バスの現在地や運行状況をアプリで確認できるロケーションシステムを導入している。	士別軌道	○	
	JR北海道	QRコード付き旭川駅前バス乗り場案内板設置	R5年4月～	QRコード付き旭川駅前バス乗り場案内板を旭川駅改札口前に設置	JR北海道	○	
	旭川空港	バス運行情報の提供	通年	サイネージによる運行情報の提供（旭川電気軌道）や、館内アナウンスによる運行情報の提供（北海道エアポート）を実施	旭川電気軌道 北海道エアポート	○	
②	旭川市	旭川駅前にサイネージを設置	通年	バスキタ旭川を利用した情報発信サイネージの設置	旭川市		○
	愛別町	道北バス町内各待合室の設置及び維持管理の実施	通年	道北バス町内各待合室（全8箇所）の設置及び維持管理の実施	愛別町	○	
	上川町	コミュニティバスの運行	通年	コミュニティバス「かみくる」を上川駅を結節点とし運行し、市街地に住む住民の移動手段の確保及び鉄道・路線バスなど他の公共交通機関の接続を意識した運行形態の確保	上川町	○	
	中富良野町	乗合タクシー	通年	AIを活用し車両配置をリアルタイムで行いタクシーの便利さと、乗合・低料金というバスの手軽さを合わせた移動サービスを実施	中富良野町		○
		ふらのバス新停留所の設置	通年	温泉宿泊施設、スーパーへのお客さんは市外からの徒歩、宿泊施設のバスでの移動が多く新停留所の設置によって乗降客の増加に資する	中富良野町		○
南富良野町	交通結節点機能整備	R5年11月	令和6年4月1日からのバス転換に向け交通結節点となる道の駅に待合室とバスシェルターを設置し、利用しやすい環境整備を実施	南富良野町		○	
③	旭川電気軌道	交通結節点機能整備	R2年12月	交通結節点（共栄バスセンター）の整備	旭川電気軌道		○
		交通結節点機能整備	R3年6月	交通結節点（春光バスセンター）の整備	旭川電気軌道		○
	交通事業者	「かみくるバス」の販売	通年	道北バス、旭川電気軌道、ふらのバスが連携し、管内の路線バスがスマホ1つで乗り放題となるモバイルチケットである「かみくるバス」を販売	道北バス 旭川電気軌道 ふらのバス	○	



# 北海道上川地域公共交通計画に係る施策（その5）

## （5）観光誘客による公共交通の利用促進

区分	団体名	施策の名称	実施時期	内容	参加者	継続	新規
①	旭川市	あさひかわバス無料DAYの実施	R5年8月26日及び9月2日	新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者の落ち込んだ市内路線バスの利用を無料化することで、市民のバス利用を促進するとともに、事業者への支援を実施	旭川市、道北バス、旭川電気軌道ふらのバス、旭川中央交通、空知中央バス、沼津バス	○	
	士別市	さほっちタクシーの運行	通年	士別市内への観光施設への利用料金を軽減した乗合タクシー事業を行い、公共交通の利用促進を実施	士別市 士別ハイヤー	○	
	比布町	びっふ駅マルシェ	毎年9月	旭川市の食べマルシェと併せて開催することで、JRの利用促進を図る	比布町	○	
	愛別町	町内イベント開催に伴うシャトルバスの運行	R5年9月10日	あいべつこのこ里フェスティバル開催に伴うシャトルバスの運行（愛別駅～役場前～イベント会場）	愛別町	○	
	上川町	上川―層雲峡間特別乗車券の販売	毎年9月～1月	上川―層雲峡間の往復乗車券に層雲峡温泉黒岳の湯の入浴券をセットにしたお得な乗車券を1,000円で販売し、層雲峡温泉への移動手段の確保及び路線バスの利用機会の創出を実施	上川町 道北バス		○
		上川駅開駅100周年記念事業	R5年8月～	令和5年度に開駅100周年を迎える上川駅の記念事業として、上川駅での写真展やイベント等を開催	上川町 JR北海道		○
	上富良野町	バス無料区間作成の実施	R5年6月18日	十勝岳山開きに併せて、山開き参加者限定無料バスを配布し、利用促進を実施	上富良野町 上富良野ハイヤー かみふらの十勝岳観光協会	○	
		バス無料区間作成の実施	R5年9月30日～ R5年10月1日	十勝岳紅葉祭りに併せて、バス無料区間を設定し、利用促進を実施（無料区間：中茶屋～十勝岳温泉温泉閣）	上富良野町、上富良野ハイヤー かみふらの十勝岳観光協会	○	
		バス無料期間作成の実施	R5年12月～ R6年3月（予定）	冬季の温泉利用に併せて、バス無料期間を設定し、利用促進と温泉振興を実施（無料区間：翁公園前～十勝岳温泉温泉閣）	上富良野町 上富良野ハイヤー		○
	音威子府村	地域バスのダイヤ改正	適宜	村内を走る地域バスについて、JR等のダイヤ改正に合わせた時刻の見直し等を実施	音威子府村	○	
	幌加内町	幌加内高校生フォトコンテスト	7月～10月	幌加内高等学校の生徒を核とした幌加内町の「新たな魅力発見」と情報発信関係団体が連携し、SNSや視高ブログ等を活用して、「魅力発信」を行いフォロワー投票や視高商店会での来場者投票による「視高生フォトコンテスト2023」を実施	幌加内町 ジェイ・アール北海道バス 幌加内町観光協会 幌加内高等学校など	○	
		ジェイ・アールバス無料DAY	7月～2月の間の数日	2023年7月17日（月祝）「海の日」から来年2024年2月23日（金祝）「天皇誕生日」まで、祝日を対象とした11日間を無料DAYとして実施	幌加内町 ジェイ・アール北海道バス	○	
	士別鉄道	レトロバスの定期運行	毎年4月～10月	昭和57年製の日野自動車製「モノコックバス」を平成30年度から定期路線を運行。日本全国からバスファンが訪れ、道外からの来訪者割合が約6割。R4年度は300人、R5年度は200人程度を見込む。現存するモノコックバスは全国に4台と言われ、平日を含む定期路線での運行は当社のみ。地元の宿泊、飲食やグッズ販売に小さいながらも効果がある。NHKなどテレビ放送、YouTube、バス雑誌にも多く採り上げていただき、全国的な知名度がある	士別鉄道	○	
	JR北海道	フラノラベンダーエクスプレスの運行	R5年6月～9月	観光誘客を図るため札幌と富良野を結ぶ観光列車を運行（関係線区：根室線、富良野線）	JR北海道	○	
		富良野・美瑛ノロッコ号の運行	R5年6月～9月	観光誘客を図るため旭川と富良野を結ぶ観光列車を運行（関係線区：富良野線）	JR北海道	○	
		花たびそや号の運行	R5年5月～6月	観光誘客を図るため旭川と稚内を結ぶ観光列車を運行（関係線区：宗谷線）	JR北海道	○	
		ロイヤルエクスプレスの運行	R5年7月～9月	観光誘客を図るため東急と連携し、北海道の観光資源を体感できる観光列車を運行（関係線区：富良野線、宗谷線、石北線）	JR北海道	○	
		HOKKAIDO LOVE! ひとめぐり号	R5年9月～10月	観光誘客を図るため北海道をひとめぐりする行程を基本として運行	JR北海道 日本航空	○	
	旭川空港	空港連絡バス割引サービス	ANA・AIRDO（通年） JAL（冬期間）	フリーバス割引クーポンを提示したお客様に、通常運賃から大人100円、小人50円割引を実施（旭川駅～旭川空港間）	ANA、AIRDO、JAL 旭川電気軌道 ふらのバス	○	
		富良野・美瑛・旭川 観光周遊バス2023	R5年6月～10月	北海道観光シーズンに運行している観光周遊バスに、今年度からHAPの要望で旭川空港を経由地に追加（9月以降は土日祝のみ）	ふらのバス ふらの旅行		○
旭川運輸支局	補助事業による支援	令和5年度	交通事業者が、地域の観光資源とタイアップし、地域の集客力とアクセス性の向上を両立しつつ、地域観光の高付加価値化を目指す観光庁の「交通・観光連携型事業（地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化）」を情報提供	国		○	
上富良野町	観光客など来訪者のニーズに合わせたダイヤ改正	R5年6月～R5年9月	十勝岳線バスの土日及び祝日の1便を増便し、十勝岳地区への利用促進を図るためダイヤ改正を実施	上富良野町 上富良野ハイヤー	○		
道北バス	都市間バスの路線統合及びダイヤ改正	R5年10月1日	旭川鈍路線（サンライズ号）と旭川北見線（石北号）をサンライズ号に統合し全便北見バスターミナルを経由する。旭川北見間は3往復、北見鈍路間は2往復となり利便性の向上を図る	道北バス、北見バス 阿寒バス		○	
沿線市町村北海道、国JR北海道	富良野線、宗谷線、根室線、石北線におけるJRとバスの共通時刻表の作成配布（再掲）	R5年9月～9月	国の「地域公共交通再構築調査事業」を活用した「調査・実証事業」において、富良野線、宗谷線、根室線、石北線と並行または接続する路線バスの共通時刻表を作成し、公共交通の利用促進を図る	沿線市町村 北海道、国 JR北海道		○	

## R5年度 最適化検討状況(系統毎)

エリア	運行系統名	系統の方針	計画上の位置づけ	① 分科会	② 分科会 開催状況	③ 検討状況
01 北空知	留萌旭川線	01 再編・最適化	JR留萌線の動向を見据え、移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を検討（北空知・上川・留萌）	留萌旭川線の支援に関する5市町打ち合わせ会議	R5.5/29、6/15、9/29	沿線自治体におけるR6支援負担割合について及び地域間幹線系統補助金を活用した路線の維持について検討
08 上川	愛別線(永山経由)	01 再編・最適化	移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段を確保	エリア別検討会及びエリア別担当者会議(旭川市～名寄市・上川町方面)	R5.7/26、8/3、8/28、10/6、11/9	国の地域公共交通利便増進事業の活用も視野に入れた路線の最適化を検討。 また、愛別線(永山経由)は層雲峡線にR5.10.1に統合。
08 上川	いで湯号	01 再編・最適化	観光客を含む移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を図りながら移動手段を確保			運行回数の減回(4回→3回)及び経路を東神楽町内は空港のみの乗降に変更し、路線の最適化を図る。
08 上川	名寄線急行	01 再編・最適化	移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段を確保	エリア別検討会及びエリア別担当者会議(旭川市～名寄市・上川町方面)	R5.7/26、8/3、8/28、10/6、11/9	国の地域公共交通利便増進事業の活用も視野に入れた路線の最適化を検討。 また、名寄線(急行)はR5.10.1に普通便に統合。
08 上川	名寄線普通	01 再編・最適化	移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段を確保	エリア別検討会及びエリア別担当者会議(旭川市～名寄市・上川町方面)	R5.7/26、8/3、8/28、10/6、11/9	国の地域公共交通利便増進事業の活用も視野に入れた路線の最適化を検討。
08 上川	愛別線(比布経由)	01 再編・最適化	移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段を確保	エリア別検討会及びエリア別担当者会議(旭川市～名寄市・上川町方面)	R5.7/26、8/3、8/28、10/6、11/9	国の地域公共交通利便増進事業の活用も視野に入れた路線の最適化を検討。
08 上川	びっぴがスキー場線	01 再編・最適化	町営バスと統合など、移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を図りながら移動手段を確保	エリア別検討会及びエリア別担当者会議(旭川市～名寄市・上川町方面)	R5.7/26、8/3、8/28、10/6、11/9	国の地域公共交通利便増進事業の活用も視野に入れた路線の最適化を検討。
08 上川	層雲峡線	01 再編・最適化	移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段を確保	エリア別検討会及びエリア別担当者会議(旭川市～名寄市・上川町方面)	R5.7/26、8/3、8/28、10/6、11/9	国の地域公共交通利便増進事業の活用も視野に入れた路線の最適化を検討。
08 上川	当麻線	01 再編・最適化	移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段を確保	エリア別検討会及びエリア別担当者会議(旭川市～名寄市・上川町方面)	R5.7/26、8/3、8/28、10/6、11/9	国の地域公共交通利便増進事業の活用も視野に入れた路線の最適化を検討。
08 上川	深旭線	01 再編・最適化	移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段を確保	留萌旭川線に係る打合せ会議	R5.5/29、6/15、9/29	並行する留萌旭川線への支援の協議に併せて、路線の再編を視野に入れた最適化の検討を進める。
08 上川	旭川線	01 再編・最適化	移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段を確保			旭川市～名寄市方面、旭川市～上川町方面の議論を勘案しながら、今後検討を行う。
08 上川	美瑛線	01 再編・最適化	移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段を確保			同上
08 上川	白金線	01 再編・最適化	観光客を含む移動実態・ニーズを踏まえ、最適化を図りながら移動手段を確保			同上
08 上川	下川	02 維持・確保	持続可能な移動手段を確保し、利用促進を図る			引き続き、利用促進策を検討する。
08 上川	興部	02 維持・確保	持続可能な移動手段を確保し、利用促進を図る			引き続き、利用促進策を検討する。
08 上川	恩根内	02 維持・確保	持続可能な移動手段を確保し、利用促進を図る	美深町地域交通活性化協議会	R5.3/23	利用促進策の検討。
08 上川	西達布線	02 維持・確保	JR根室本線(富良野駅～新得駅)の廃止を踏まえて、沿線住民の日常生活や広域的な移動について持続可能な移動手段を確保していくとともに利用促進を図っていく。			根室線(富良野～新得間)の廃止に伴う、代替交通としてR6.4.1に南富良野町幾寅まで延伸し、地域間幹線系統への移行を行う。

# R5年度 広域計画推進状況確認表

エリア	方向性	重点	① R5年度の取組（計画上）	② R5年度実績		③ R5年度の今後の取組予定	
				実施主体	実施内容	実施主体	実施内容
上川	利便性向上		バスキタの周知・利用促進	市町村	・市町村ホームページ及び事業者ホームページにおいて利用方法を紹介。	市町村	引き続き周知を行う。
上川	利便性向上	★	乗り継ぎ拠点・バス停整備に向けたニーズ把握	振興局	・名寄線、愛別線、層雲峡線、ぴっぴスキー場線、当麻線において、将来的な乗継拠点の整備やバス停整備も視野に入れた路線の最適化を検討	振興局	引き続き検討を行う。
上川	利便性向上	★	シームレスのためのニーズ把握・検討	振興局	同上	振興局	同上
上川	利便性向上	★	結節点の構築検討	振興局	同上	振興局	同上
上川	利用促進		JRとバスの総合時刻表の作成	調査・実証事業協議会	・JR富良野線、JR石北線、JR宗谷線、JR根室線と及び並行する道北バス、ふらのバス、北海道中央バス等の路線とJRとの共通時刻表を作成。		
上川	利用促進		乗り方教室の開催	事業者	・交通事業者によるバスの乗り方相談会の開催。		
上川	利用促進	★	ノーカーデーの実施	市町村	・ノーカーデーの実施		
上川	利用促進		観光誘客に資する企画列車の検討	事業者	・宗谷線に「花たびそうや号」、富良野線に「ノロッコ号」、宗谷線及び石北線に「THE ROYAL EXPRESS」、石北線・富良野線・宗谷線・根室線に「HOKKAIDOLOVE!ひとめぐり号」を運行。		
上川	利用促進		観光施策と連携した取組の検討	事業者	・あさひかわバス無料DAY ・ぴっぴ駅マルシェの開催 ・名寄駅開駅120周年、上川駅開駅100周年の記念行事を実施。 ・上川～層雲峡の往復乗車券に黒岳の湯の入浴券をセットした商品を発売し、層雲峡温泉への集客及び路線バスの利用促進を図る。 ・ジェイアールバス無料DAY ・レトロバスの定期運行		
上川	運転手確保	★	就職説明会・運転体験会の開催	事業者	・旭川運転免許試験場において、バス運転手への就職説明会及び運転体験会を開催。		
上川	運転手確保	★	移住施策との連携	市町村	・「旭川市路線バス乗務員確保対策事業」では、移住して路線バス事業者に就職した場合や、免許取得費用について助成。 ・振興局主催の首都圏開催の移住セミナーにおいて、旭川市の同事業をPR。		
上川	運転手確保			事業者	・交通事業者による2種免許取得に対する支援の実施。		
上川	再編・最適化		地域公共交通活性化協議会、エリア別検討	振興局	最適化検討状況(系統別)にて報告	振興局	随時開催しバス路線(旭川～名寄、上川)の最適化を検討していく。
上川	再編・最適化		最適化に係る協議・検討	振興局	最適化検討状況(系統別)にて報告	振興局	北海道上川地域公共交通活性化協議会、同エリア別検討会において引き続き検討していく。
上川	再編・最適化		利用状況のモニタリング	振興局	名寄線、愛別線、層雲峡線、ぴっぴスキー場線、当麻線の最適化の検討に際し、利用者に対し、アンケート調査を実施(11/24～12/15)。		

# 北海道上川地域公共交通計画推進管理状況(概要)

## 計画の将来像

上川地域における様々な主体の共創の取組推進による持続可能な公共交通ネットワークの確保

## 目標

- ①官民連携による取組の推進
- ②公共交通利用に対する意識醸成
- ③公共交通の担い手確保
- ④公共交通の利用環境の改善
- ⑤観光における公共交通の利用促進

## R 5 年度の主な取組

### 広域交通の最適化に向けた連携体制の構築による取組の推進



国・北海道・市町村・各交通事業者等が連携体制を構築し、広域交通の維持・確保に関する取組の推進を図る。

### 観光誘客による公共交通の利用促進



観光客にとっても利用しやすい公共交通を整備することで、本地域の観光における公共交通利用者の増加につなげる。

### 公共交通の維持・確保に向けた利用者意識の醸成

いつもの生活スタイルを見直してみませんか？



みんなで乗れば、未来が変わる。

考えよう、行動しよう。公共交通の未来。

令和5年度ノーカーデー推進強化期間  
9月20日▶10月31日

公共交通を利用しやすい環境づくり等の取組を進めるとともに、日常的な移動における公共交通利用の意識醸成を図る。

### 公共交通の担い手確保

路線バス 運転体験 合同就職 相談会

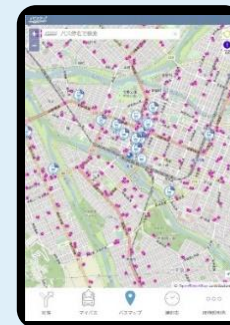
開催日 / 7月15日(土)

時間 / 午後の部 [10:00~12:00] 午前の部 [13:00~15:00]

会場 / 旭川運転免許試験場

運転手の仕事の魅力発信や、自治体で実施する移住施策等との連携などにより、公共交通の担い手の確保を図る。

### 快適な公共交通利用空間の整備やシームレスな乗継確保



乗継拠点やバス停等を整備し、乗り継ぎをスムーズに行えるようにすることで利便性を向上させ、利用者の満足度向上や利用促進につなげる。

## R 6 年度の主な取組

- ・ 広域交通の最適化に向けた連携体制の構築による取組の推進
- ・ 公共交通の維持・確保に向けた利用者意識の醸成
- ・ 公共交通の担い手確保
- ・ 快適な公共交通利用空間の整備やシームレスな乗継確保
- ・ 観光誘客による公共交通の利用促進

評価指標(KPI)	現状値(令和3年度)	実績値(令和4年度)	目標値(目標年)
広域交通の利用者数	848,232人	942,048人	942,000人
広域交通の平均の収支率	37.15%	38.31%	38.31%
広域交通への公的資金投入額	524,022千円	516,690千円	524,022千円以下

## 議案 2 北海道上川地域公共交通計画の改定について

下記路線の事業計画変更を踏まえ、路線バスの維持・確保の方針等を別紙のとおり改定する。

### 記

事業者名	系統名	事業計画等の変更の概要	実施時期（予定）
道北バス	名寄線 （急行）	併行する普通便への統合により、系統廃止。	令和5年10月
	愛別線 （永山経由）	併行する層雲峡線への統合により、系統廃止。	令和5年10月
旭川電気 軌道	旭岳線 （いで湯号）	経路変更に際して、現系統を廃止し、新系統「旭川空港旭岳線」を新設。	令和5年10月
ふらのバス	西達布線	J R根室本線（富良野～新得）の廃止による代替バスとして、終点を「西達布」から「幾寅駅」として路線を延伸し、沿線の通学等の足を確保する。また、生活交通路線から地域間幹線系統に変更する。	令和6年4月
士別軌道	中多寄線	スクールバスに統合されたため、現系統は系統廃止。	令和5年4月
宗谷バス	天北宗谷岬線	浜頓別～音威子府が廃止となり、当該系統の上川管内への乗入がなくなった。代替として中頓別町・浜頓別町地域公共交通活性化協議会によるデマンドバスの運行が開始された。	令和5年10月

### 議案 3 その他

北海道上川地域公共交通計画について、下記のとおり修正する。

#### 記

頁数	箇所	変更内容	変更の理由
23頁	図2-2	北海道の計画から次の計画を削除 ・旭川大雪圏域連携中枢都市圏ビジョン ・北・北海道中央圏域定住自立圏共生ビジョン ・第2次富良野地区定住自立圏共生ビジョン	誤記載
132頁	表6-1	興部線の役割の表記の一部を修正 ・広域生活路線→広域的な生活路線	道単補助の広域生活路線との混同を避けるため。